

愛知大学の中に残る旧軍隊のあと

第 15 師団司令部址（だい 15 しだんし
れいぶ）

第 15 師団は、明治 41 年（1908）誘致運動（ゆうちかつどう）をした豊橋市に設置された。この地には、師団司令部のほか、騎兵第 4 旅団（きへいさい 4 りょだん）司令部、歩兵第 60 連隊（ほへいだい 60 れんたい）などが置かれた。しかし、師団は、大正 14 年（1925）に廃止となり、その後は、陸軍予備士官学校（りくぐんよびしかんがっこう）などに利用された。



旧陸軍第15師団正門

撮影 平成25年8月

2 旧陸軍第 15 師団司令部庁舎（愛知大学旧本館）

愛知大学旧本館は、旧陸軍第 15 師団司令部として明治 41 年（1908）に建てられ、終戦後は愛知大学の本館として使用されてきました。建物は木造二階建て、寄棟造（よせむねづくり）の棧瓦葺（さんがわらぶき）で、両翼屋を背後に突き出したコの字形の平面形を持ちます。外壁は板張りで、装飾をあまり用いない軍隊関連建物らしい簡素（かんそ）な造りです。建築面積は 1,859 m²です。木造の旧師団司令部庁舎で、現存するのは全国的にごく少なく、明治末期の陸軍による兵営建築の手法をよく残す建物として貴重な例です。



旧陸軍第15師団指令部庁舎

撮影 平成25年8月

参考：建物前の説明板 豊橋市教育委員会
（栄小学校 北湯口 章）